

款 9 消防費

項 1 消防費

目 1 常備消防費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 金	不 用 額
3,057,985,000円	3,005,427,904円		52,557,096円

核家族・高齢社会の到来と、都市構造も変化し、住民のニーズも多様化しています。そのうえ災害の態様も多様化の傾向を見せており、大規模災害への対応や、救急業務の資質向上を図り、住民の生命、財産を守るため、発災時の初動体制の確立、消防水利の充実や施設装備の維持、向上に努めました。

〔一般職給〕	260人	2,245,306,418円	
〔嘱託職給〕	4人	12,045,502円	
〔退職手当〕	4人	126,076,311円	
〔福利研修費〕		24,701,004円	
うち救急救命士養成	2人	4,464,400円	
うち救急Ⅱ課程	10人	836,500円	
〔消防施設管理費〕		117,931,516円	
・庁舎等管理費		80,526,729円	
・消防車両管理費		29,928,936円	
・消防艇管理費		4,404,583円	
・防火水槽等管理費		3,071,268円	
〔出初式関係経費〕		970,400円	
〔火災予防関係経費〕		4,104,178円	
・火災予防運動活動費		4,004,178円	
・防火協会補助金		100,000円	
〔危険物保安技術審査委託料〕		22,794,500円	(その他特財 22,794,500円)
〔常備消防一般管理費〕		78,324,134円	
・貸与被服費		23,476,949円	
うち備品購入費 セパレート型防火衣108着		13,211,100円	
・救急関係事業活動費		3,917,856円	
・消防音楽隊活動費		3,863,905円	
うち講師報償金		1,225,000円	
・一般経費		47,065,424円	
〔上水道消火栓新設補修費補償金〕		42,434,000円	
(新設 77カ所・補修 135カ所)			
〔楠、朝日、川越三町消防事務受託費〕		322,060,373円	(その他特財 322,060,373円)
・一般職給	33人	306,167,568円	
・一般経費		15,892,805円	
うち備品購入費 セパレート型防火衣12着		1,467,900円	
〔負担金〕		8,679,568円	
・三重県防災航空隊		7,373,000円	
・全国消防長会等		1,306,568円	

火災発生状況(歴年)

区 分	火 災 発 生 件 数 (件)			死 傷 者 (人)			損 害 額 (千 円)
	建 物	そ の 他	計	死 者	30日 瘡	負 傷 者	
平 成 9 年	71	67	138	6	1	21	251,043
平 成 10 年	69	43	112	5	1	14	196,697
前 年 比	2	24	26	1	0	7	54,346

救急出動件数推移表（歴年）

区 分	平成 6 年	平成 7 年	平成 8 年	平成 9 年	平成10年
急 病	3,250	3,609	3,866	4,099	4,208
交通事故	1,731	1,790	1,690	1,644	1,632
その他	1,476	1,656	1,819	1,852	1,979
合 計	6,457	7,055	7,375	7,595	7,819

〔成 果〕

救急救命士 2 人、救急Ⅱ課程修了者10人を養成したことにより、3消防署の救急隊を専従化し、救急業務の資質的向上を図りました。

昨年度に引き続き防火衣（セパレート型）を導入し、職員の安全確保と現場活動能力の向上を図りました。

消防水利の維持、充実のため、77箇所の消火栓新設（敷設替え）等を行いました。

目 2 非常備消防費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 金	不 用 額
93,272,000円	89,076,305円		4,195,695円

消防団組織の活性化に努めるとともに、住民の災害対応力向上のため、各地域における自主防災組織の育成を図るとともに、市民の防災意識の向上に努めました。

〔非常勤職員報酬〕	412人	12,446,883円	
〔団員等公務災害補償費〕		2,043,840円	
〔消防団退職報償金〕	38人	9,385,608円	（その他特財 7,715,000円）
〔団員福利研修費〕		2,444,380円	
〔分団施設等管理費〕		5,724,487円	
・施設管理費		2,048,168円	
・車両管理費		3,676,319円	
〔団消防操法大会関係経費〕		195,052円	
〔非常勤消防一般管理費〕		43,361,246円	
・消防団運営費補助金		2,950,000円	
・貸与被服費		5,576,471円	
うち防火外とう31着		798,000円	
・一般経費		34,834,775円	
〔自主防災組織関係経費〕		4,794,683円	
・自主防災隊運営費補助金等		1,746,500円	
・自主防災組織設置費補助金	10隊	1,500,000円	
・自主防災組織研修費等		1,548,183円	
〔負担金〕		8,680,126円	
・消防団員等公務災害補償等共済基金		8,131,126円	
・三重県消防協会北勢支会		549,000円	

〔成 果〕

自治会を単位とする自主防災隊が新たに10隊結成され、当該地域における災害対応力の向上と住民の防災に関する認識が深まりました。（本年度末現在 509隊）

目 3 消防施設費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 金	不 用 額
99,168,000円	87,344,542円		11,823,458円

災害現場での活動能力の維持及び向上を図るため、老朽化した消防車両の更新と、施設装備等の充実強化に努めました。

〔消防庁舎等施設整備事業費〕	800,000円	{ 県支出金 400,000円 その他特財 40,000円 }
・携帯電話 119番通報転送設備設置工事		
〔消防車両購入費〕	36,924,860円	
・高規格救急車 1台	18,342,990円	{ 国庫支出金 5,085,000円 市債 10,700,000円 }
・消防分団車(富田・八郷)2台	16,864,080円	{ 国庫支出金 5,338,000円 市債 10,200,000円 }
・原因調査車 1台	1,717,790円	
〔消防活動用機器整備費〕	11,514,750円	
・無線移動基地局 3台	2,378,700円	
・空気呼吸器 4基	875,700円	(県支出金 204,000円)
〔消防水利整備事業費〕	36,243,807円	
・耐震性貯水槽設置 3箇所	31,576,650円	{ 県支出金 8,813,000円 市債 20,000,000円 }
〔市民防災隊ポンプ保管庫等整備事業費〕	1,408,050円	
・ポンプ保管庫設置 3箇所	1,408,050円	(県支出金 650,000円)
〔楠、朝日、川越三町消防事務受託施設等整備事業費〕	453,075円	(その他特財 453,075円)

〔成 果〕

携帯電話による 119番通報受信が可能となり、災害発生通報手段の多様化を図りました。

中消防署に配備の高規格救急車、富田及び八郷分団に配備の消防車の更新に伴い、性能の向上と、資機材の充実が図られました。

無線移動基地局を3消防署に配備し、大規模災害等の発生時における無線通信、統制手段を確立しました。

目 4 水防費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
4,288,000円	3,841,216円		446,784円

水害が生じ、また生じようとしている時に、市民の命と財産を水害から守るため、年次的に水防倉庫の整備を行うとともに、水防組合に対し運営費の補助を行いました。

〔水防施設整備事業費〕	745,500円
・水防倉庫設置(市内44ヶ所の内 1ヶ所)	
〔水防組合運営費補助金〕	555,956円
〔一般経費〕	2,539,760円

〔成 果〕

水防倉庫の老朽化に伴い、大矢知町地内の大矢知水防倉庫の更新を行い、また全市に28組織ある水防組合に対し、運営費補助を行い、水防資機材の充実を図りました。